

日本女性会議2017とまこまい 大会宣言 案

「北の大地で語ろう これからの未来の一步を」のテーマのもと、男女平等参画社会の実現に向けチャレンジを始めた苫小牧にお集まりいただいたみなさん

「平等・開発・平和」世界にこの目標が掲げられた国際婦人年から42年が経ちました。この間、日本女性会議も34回を数え、私たちは、たくさんの議論を重ねてきました。

私たちがめざすべきは、すべての人が、互いにその人権を尊重しあえる社会です。

私たちがめざすべきは、すべての人が、個性と能力を十分に発揮できる社会です。

市民・団体や企業、行政、さまざまな主体が、こうした男女平等参画社会の実現に取り組んできました。

いま、私たちは、少子高齢化が進み、人口減少社会に突入する時代を迎えました。男女平等参画社会の実現は、社会全体で取り組むべき21世紀のもっとも重要な課題です。しかし、そのためには、乗り越える問題もたくさんあります。

私たちは、これまでも課題と位置付けられながら、時代の変化とともに、更に深く、拡大しているDV、人権、教育、健康、雇用などの身近な問題に向き合いました。災害、平和といった安心できる社会の基礎となるべき問題と向き合いました。これからの男女平等参画社会を目指すために必要なのは、連携と協働です。私たちは、そのための考えを共有することができました。

私たちは、決して一人ではありません。この大会でつながった大きな輪を大切にしたいと思います。私たちは、男女平等参画社会の実現への歩みを着実に進め、平和な未来、一人ひとりが生きやすい社会の”バトン”を子どもたちにつなぎます。

大会の名により、それぞれの立場における役割のなかで、男女平等参画社会の実現を目指すために宣言します。

- 1 私たちは、お互いの人権を尊重し、生きやすい地域社会をつくるために行動します。
- 1 一人ひとりの個性や能力を活かしながら生活環境も大切にする働きやすい職場を目指すために行動します。
- 1 男女平等参画社会を目指すための連携や協働を進めるために積極的に行動します。

北の大地からチェンジ！！